

# 第1学年 学級活動（1）指導案

平成30年11月20日（火）第5校時

活動場所

1年 教室

1 議題「たのしむ！2がっき おたのしみかいをしよう」

2 児童の実態と議題設定の理由

児童の実態については、当日配付する指導案に掲載します

学級活動については、これまでに「1学期がんばった会」、「クラス遊びをきめよう」、「ハロウィンパーティー」などについて話し合いを行った。仲間の考えを受け入れ、協力して話し合いができるように意識をさせて授業を重ねてきた。1学期は教師主導のもと、2学期からは児童主体で話し合い活動に取り組み、話し合いの進め方を指導してきた。計画委員の役割も理解し、徐々に話し合いにも慣れてきた。なかなか意見を言えなかった児童も少しずつ発言できるようになり、話し合いに全員が参加できるようになってきた。

そこで本議題「楽しむ！2学期 お楽しみ会をしよう」は、ハロウィンパーティーの反省を生かし、お互いの意見を大切にしながら協力して計画を立て、実践することを通して議題を決定した。自分たちの力でよりよい学級会をつくっていかうとする自治的能力や実践的な態度が高められるようにしたいという思いで、指導を行う。

3 評価の観点と評価基準

集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団生活や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて、理解している。

4 事前の活動

【計画委員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月13日 （火） 昼休み	・議題案を選定する。	・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。	[関心・意欲・態度] ・よりよい学級生活のために、進んで議題を選ぼうとしている。  〈観察〉
14日（水） 15日（木） 業間休み	・会議プリントを作るなど学級会の準備をする。 ・学級会コーナーの準備をする。	・遊びについては、事前にアンケートを取ることを知らせる。	[知識・理解] ・計画委員の役割、会の進行の仕方を理解している。〈観察〉
16日（金） 業間休み 昼休み	・全員の会議プリントに目を通す。 ・話し合いの準備・練習をする。	・話し合いの見通しがもてるようにする。 (話し合う内容・時間・など)	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月13日 (火) 帰りの会	・計画委員を中心に議題を決定する。	・計画委員が提案し、全員で決める。	【関心・意欲・態度】 ・ハロウィンパーティーの経験をもとに学級がよりよくなるためにはどのようにしたらよいか考えている。  (観察)
11月15日 (木) 業間休み	・会議プリントに自分の考えを記入する。	・提案理由やめあてをふまえて、自分の考えを書くよう助言する。 ・決まっていることを共通理解させる。	[思考・判断・実践] ・目的やめあてにあった考えを書くことができる。  (会議プリント)
11月16日 (金) 朝の会	・会議プリントを受け取る。	・会議プリントに励ましの言葉を書き、自信をもって意見を言えるようにする。 ・意見がずれている児童に対しては、教師が助言を書き入れることで、見通しをもち話合いに参加できるようにする。	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

みんなのために意見を出して、会の成功を目的に計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

※当日配付します

参考 児童の活動計画

だい6かい がつきゅうかつどう かつどうけいかく へいせい30ねん11がつ20にち (か) 5じかんめ		
ぎだい		
やくわりぶんたん	しかい ( ) ( )、ていあんしゃ ( )、こくばんきろく ( ) ( ) ノートきろく ( )	
ていあんりゆう	----- ----- ----- -----	
めあて	----- -----	
きまっていること	----- ----- -----	
はなしあいのじゅんじょ (じかん)	気をつけること	じゅんび
1はじめのことば 2けいかくいいのしょうかい 3ぎだいのかくにん 4ていあんりゆうやめあてのかくにん		
5きまっていること のかくにん 6はなしあい ① みんながたのしめるあそびをかんがえよう (15ふんかん)		
② もり上がるくふうをかんがえよう (20ふんかん) 7きまったことのかくにん 8かいぎプリントをかく 9せんせいはなし 10おわりのことば		

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1はじめの言葉 2計画委員の紹介 3議題の確認 4提案理由やめあての確認 5決まっていることの確認 6話合い ① みんながたのしめるあそびをかんがえよう (15分間) ② もりあがるくふうをかんがえよう (20分間)  7決まったことの確認 8会議プリントを書く 9先生の話  10おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るい雰囲気づくりに努める。</li> <li>・ 自分のめあてなどが言えるよう、事前に指導する。</li> <li>・ 提案者の思いを全員が理解し、話合いの指針となるよう事前に指導する。</li> <li>・ 事前に掲示できるものを用意し、共通理解して話合いに入れるようにする。</li> <li>・ 議題や話し合うことなどは、事前に短冊に書いてはることができるように準備する。</li> <li>・ 理由を付けて発表できるように助言する。</li> <li>・ 提案理由を意識し、みんなで楽しめるゲームが提案できるよう助言する。</li> <li>・ 自治的活動の範囲を超えている場合など必要に応じて助言する。</li> <li>・ 発言者が偏らないようにするとともに、なかなか発言できない児童や進んで参加できない児童には、個別に助言する。</li> <li>・ 少数意見であっても、発言の機会を与える。</li> <li>・ 自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつける必要についても助言する。</li> <li>・ よかった点や課題について自己評価をするとともに、よい意見を言っていた友達や計画委員のよかったところなど、相互評価ができるよう助言する。</li> <li>・ 計画委員へねぎらいの言葉をかけるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるようにする。</li> </ul>	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハロウィンパーティーの遊びの計画について話し合った経験を生かし、集会の目的に合った遊びや工夫を考え、発言している。</li> </ul> <p>〈観察・会議プリント〉</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話合いの進め方や、約束を理解している。</li> </ul> <p>〈観察〉</p>

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価の方法
11月22日 (木) 業間休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決まったことを学級会コーナーに掲示する。</li> <li>・ 係の役割分担をする。</li> <li>・ 係ごとに準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○決まったことを全員が確認しやすくするため、要点を書くように助言する。</li> <li>○役割分担をして、協力したり、工夫をしたりするよう助言する。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで自分の担当の係の準備に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〈観察〉</p>

<p>12月4日 (火)～ 11日(火) 休み時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係の準備をする。</li> </ul>	<p>○朝の会や帰りの会で、各係の進行状況を確認し、互いの取り組みを認め合い、意欲が継続するような声掛けをする。</p>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会の目的を考え、友達と協力して、準備したり参加したりしている。</li> </ul> <p>〈観察・振り返りカード・感想文〉</p>
<p>20日(木)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽しむ！2学期お楽しみ会」を実行する。</li> <li>・終了後、感想を記入する。</li> </ul>	<p>○集会のねらいを確認し、協力して活動できるようにする。</p> <p>○集会を振り返り、みんなで協力して、自分たちで作上げた達成感を感じられるようにする。</p>	